サーベイランスポイントの試算結果

- OIE のA型サーベイランスで必要とされるポイント数と、サーベイランスポイントとを比較。
- サーベイランスポイントは、全頭「4歳以上7歳未満」であると仮定して計算。

{オーストラリア}

牛の飼養頭数 (2006年) 約 2218 万頭*→7 年間で300,000 ポイント以上必要

【サーベイランス実施頭数】

(検査頭数)

年次	通常と畜牛	死亡牛	不慮の事故に	臨床的に	合計
			よると畜牛	疑われる牛	
2001	802	438	81	502	1,823
2002				439	439
2003		150		460	610
2004		201	220	445	866
2005		718	1,587	482	2,787
2006		641	760	497	1,898
2007 (年間の一部のみ)		232		263	495
合計	802	2,380	2,648	3,088	8,918
サーベイランス	(×0.2)	(×0.9)	(×1.6)	(×750)	2,322,539
ポイント	=160	=2,142	=4,237	=2,316,000	(目標達成)

[※] オーストラリア回答書 3.1「母集団の構造」に記載された数値を利用し、すべて 24 ヵ月齢以上とみなして 計算した。

{メキシコ}

牛の飼養頭数(2005年)約3,099万頭※→7年間で300,000ポイント以上必要 【サーベイランス実施頭数】

(検査頭数)

年次	通常と畜牛	死亡牛	不慮の事故に	臨床的に	合計
			よると畜牛	疑われる牛	
2001	296			9	305
2002	433	1		16	450
2003	458	1		6	465
2004	1,440	9	425	110	1,984
2005	2,008	98	1,307	103	3,516
2006	1,594	171	1,614	52	3,431
2007	7,933	769	7,336	675	16,713
合計	14,162	1,049	10,682	971	26,864
サーベイランス ポイント	(×0.2)	(×0.9)	(×1.6)	(×750)	749,117
ポイント	=2,832	=944	=17,091	=728,250	(目標達成)

[※] メキシコ回答書 3.1「母集団の構造」の添付文書を参照したが、月齢に関する記載はなかったため、すべて 24ヵ月齢以上とみなして計算した。

{チリ} 牛の飼養頭数(1996 年)<u>約 216 万頭**</u>→7 年間で<u>300,000 ポイント</u>以上必要 【サーベイランス実施頭数】 (検査頭数)

年次	通常と畜牛	死亡牛	不慮の事故に	臨床的に	合計
			よると畜牛	疑われる牛	
2001	68				68
2002	634			5	639
2003	645		1	11	657
2004	59	1	13	55	128
2005	1,333	578	1,494	99	3,504
2006	736	2,210	5,667	261	8,874
2007	410	1,913	5,289	115	7,727
合計	3,885	4,702	12,464	546	21,597
サーベイランス	(×0.2)	(×0.9)	(×1.6)	(×750)	434,451
ポイント	=777	=4,232	=19,942	=409,500	(目標達成)

[※] チリ回答書 3.1「母集団の構造」に記載された数値を利用し、すべて 24ヵ月齢以上とみなして計算した。

{ブラジル}

牛の飼養頭数 (2006 年) 約1億6960 万頭^{*}→7 年間で300,000 ポイント以上必要 【サーベイランス実施頭数】 (検査頭数)

年次	通常と畜牛	死亡牛	不慮の事故に	臨床的に	合計
			よると畜牛	疑われる牛	
2001		21		410	431
2002	4,536	45	122	671	5,374
2003	197	56	23	888	1,164
2004	108	107	692	1,362	2,269
2005	1	82	1,053	1,057	2,193
2006	50	72	1,514	680	2,316
2007	1	17	718	148	884
合計	4,893	400	4,122	5,216	14,631
サーベイランス	(×0.2)	(×0.9)	(×1.6)	(×750)	3,919,934
ポイント	=979	=360	=6,595	=3,912,000	(目標達成)

[※] ブラジル回答書 3.1「母集団の構造」に記載された数値を利用し、すべて 24ヵ月齢以上とみなして計算した。

{ハンガリー}

牛の飼養頭数(2007年) <u>約 365,000 頭*</u>→7 年間で<u>60,000 ポイント</u>以上必要

【サーベイ	ラ	ンス	実施頭数】
-------	---	----	-------

(検査頭数)

	=				
年次	通常と畜牛	死亡牛	不慮の事故に	臨床的に	合計
			よると畜牛	疑われる牛	
2000	92	21		75	188
2001	9,821	602	754	82	11,259
2002	63,293	1,808	4,422	69	69,592
2003	86,595	6,532	4,263	98	97,488
2004	81,461	12,562	2,479	62	96,564
2005	67,864	13,378	2,485	38	83,765
2006	67,440	13,794	2,581	37	83,852
合計	376,566	48,697	16,984	461	442,708
サーベイランス	(×0.2)	(×0.9)	(×1.6)	(×750)	492,064
ポイント	=75,313	=43,827	=27,174	=345,750	(目標達成)

^{※「}Report on the monitoring and testing of ruminants for the presence of TSE in the EU in 2007 017ページ「Table B2: Active monitoring in relation to the adult population (> 2 years of ge) の数値を利用。 すべて24ヵ月齢以上と見なして計算した。

{コスタリカ}

牛の飼養頭数(2000年)約79万頭**→7年間180,000ポイント以上必要

【サーベイランス実施頭数】

(検査頭数)

年次	通常と畜牛	死亡牛	不慮の事故に	臨床的に	合計
			よると畜牛	疑われる牛	
2001	45			39	84
2002	40			50	90
2003	17			78	95
2004	37			78	115
2005	1	17	54	28	100
2006		30	56	20	106
2007		23	49	12	84
合計	140	70	159	305	674
サーベイランス ポイント	(×0.2)	(×0.9)	(×1.6)	(×750)	229,095
ポイント	=28	=63	=254	=228,750	(目標達成)

[※] コスタリカ回答書 3.1「母集団の構造」に記載された、24ヵ月齢以上と思われる牛の頭数。

{ニカラグア}

牛の飼養頭数 約 207 万頭**→7 年間で300,000 ポイント以上必要

【サーベイランス実施頭数】

(検査頭数)

	> 4E. > 1.>.				(1)(111-)(1))()
年	通常と畜牛	死亡牛	不慮の事故に よると畜牛	臨床的に 疑われる牛	合計
2000	2	6			8
2001	107		9		116
2002	178	3	32		213
2003	128	6	23		157
2004	25	22	56		103
2005	21	63	98		182
2006	10	48	73		131
2007	13	43	46		102
合計	484	191	337		1,012
サーベイランス	(×0.2)	(×0.9)	(×1.6)		808
サーベイランス ポイント	=97	=172	=539		(目標に達せず)

[※] ニカラグア回答書 3.1「母集団の構造」に記載された、24 ヵ月齢以上と思われる牛の頭数。年次については 不明。

{パナマ}

牛の飼養頭数 約 70 万頭^{*}→7 年間で<u>180,000 ポイント</u>以上必要 【サーベイランス実施頭数】

サーベイランスの成績は記載が無いため、試算できず。

※ パナマ回答書「3サーベイランス」に記載された、24ヵ月齢以上と思われる牛の頭数。 年次については不明。

{ホンジュラス}

牛の飼養頭数 (2006年) 約 175 万頭※→7 年間で300,000 ポイント以上必要

【サーベイランス実施頭数】

(検査頭数)

年次	通常と畜牛	死亡牛	不慮の事故に	臨床的に	合計
			よると畜牛	疑われる牛	
2000	18				18
2001	3				3
2002	51				51
2003	100				100
2004	90				90
2005	62				62
2006	27				27
2007	139				139
合計	490				490
サーベイランス	(×0.2)				98
サーベイランス ポイント	=98				(目標に達せず)

[※] ホンジュラス回答書 3.1「母集団の構造」に記載された母集団数。月齢の詳細は不明のため、すべて 24 ヵ月 齢以上とみなして計算した。

表1 国における成牛群のサイズと目標ポイント数の関係

目標ポイント数						
成牛群のサイズ	10 万頭に 1 頭の BSE 感染牛の	5 万頭に 1 頭の BSE 感染牛の				
(24ヵ月齢以上)	検出が可能なサーベイランス	検出が可能なサーベイランス				
	(A型サーベイランス)	(B型サーベイランス)				
1,000,000 頭以上	300,000	150,000				
800,000~1,000,000 頭	240,000	120,000				
600,000~800,000 頭	180,000	90,000				
400,000~600,000 頭	120,000	60,000				
200,000~400,000 頭	60,000	30,000				
100,000~200,000 頭	30,000	15,000				
50,000~100,000 頭	15,000	7,500				

表2 牛群別、年齢別のポイント

	牛群の範囲						
	通常と畜牛	通常と畜牛 死亡牛 緊急と畜牛 臨床的に疑われる					
1~2歳	0.01	0.2	0.4	N/A			
2~4歳	0.1	0.2	0.4	260			
4~7歳	0.2	0.9	1.6	750			
7~9歳	0.1	0.4	0.7	220			
9歳以上	0.0	0.1	0.2	45			

(出典: OIE Terrestrial Animal Health Code 2008 VOLUME II CHAPTER 11.6. Article 11.6.22.)